令和７年度 第2回

竜禅寺小学校 学校運営協議会

令和７年７月25日（金）１３時３０分～

浜松市立竜禅寺小学校

第２回竜禅寺小学校運営協議会

令和７年７月25日　13:30～15:30：会議室

開会　開催要件(委員の過半数の出席)確認　<司会：高須、記録：亮佑>

１　始めの言葉

２　会長挨拶

３　校長挨拶

４　議長の選出

５　前回会議録確認

６　熟議　<議長：　　　記録：亮佑>

（１）各学年の１学期の教育活動について　（学年主任）

（２）１学期末の学校評価と改善策　（教務主任）

（３）グループ別の話し合い　～「竜の子宣言」の実践について～　（教頭）

【低学年】２年１組
【中学年】２年２組
【高学年】会議室

７　報告　<司会：高須、記録：亮佑>
学校支援コーディネーターから

８　連絡　<司会：高須、記録：亮佑>

（１）次回開催　　令和７年11月18日(火)　13:15～15:00
(授業参観 13:15～14:00　協議会 14:00～15:00)

（２）　〃　議長の確認

（３）　〃　内容の確認

（４）その他

９　終わりの言葉

閉会

学校運営協議会　名簿

学校運営協議会委員

		熟議場所
会長	高須　道男(たかす　みちお)	会議室
副会長	栁川　春彦(やながわ　はるひこ)	2年1組
委員	寺田　成一(てらだ　しげかず)	2年2組
委員	松本　直己(まつもと　なおき)	会議室
委員	新井　和美(あらい　かずよし)	2年1組
委員	加藤　京子(かとう　きょうこ)	2年2組
委員	鈴木　宏幸(すずき　ひろゆき)	会議室
委員	北井　実香(きたい　みか)	2年1組
委員	青島　早苗(あおしま　さなえ)	2年2組
委員	中村　哲也(なかむら　てつや)	会議室

学校

校長	谷野　幸代(やの　さちよ)	巡回
教頭	平本　智之(ひらもと　ともゆき)	巡回
教務主任	近藤　仁志(こんどう　ひとし)	2年1組
CS担当教職員	鈴木　亮佑(すずき　りょうすけ)	2年2組
CSディレクター	中村　朝実(なかむら　あさみ)	会議室
担任・級外	【1年】石塚、中村【2年】藤村、金子 【3年】鈴木、菅　【4年】加茂、橋本 【5年】冨田、坂口【6年】石田、大場 【たつのこ】塩崎(低)、村上(中)、水口(高)、半場(中)、福積(高)【級外】齋藤(艇)、黒澤(中)	学年団ごと 各教室

浜松市教育委員会

教育総務課	加藤　大輔(かとう　だいすけ)	2年1組

オブザーバー

南部協働センター所長	加藤　晴康(かとう　はるやす)	2年2組

令和７年度　１学期 振り返りアンケート結果 数値は、いつもできた・ときどきできたの割合		児童							保護者	教職員	手立て
		１年	２年	３年	４年	５年	６年	児童全体	保護者	教職員	教職員
竜の子宣言	進んで気持ちの良い挨拶をします	84.8	92.8	88.5	96.3	93.9	92.6	91.5	84.0	90.0	73.6
竜の子宣言	目標に向かって粘り強く取り組みます	91.3	87.5	90.4	92.6	95.9	92.6	91.7	83.0	85.0	70.1
竜の子宣言	思いやりの心を持って行動します	100.0	85.7	96.1	87.1	98.0	94.4	93.6	96.0	85.0	73.6
竜の子宣言	安全に気を付けて元気に生活します	91.3	87.5	92.3	92.6	98.0	98.2	93.3	93.0	63.1	100.0
	平均	91.9	88.4	91.8	92.2	96.5	94.5	92.5	89.0	80.8	79.3

令和６年度末に考えた手立て
進んで気持ちの良い挨拶をするための手立て・・・挨拶カードの活用
目標に向かって粘り強く取り組むための手立て・・授業の充実
①個別最適な学びと協働的な学びを往還する学習過程の計画実践
②学習の進め方を自ら調整する場面の設定
③体育科の学習において運動の系統性を示し、目標を設定する
思いやりの心を持って行動するための手立て・・・ＳＳＴや学級での話し合い
安全に気を付けて元気に生活するための手立て・・全校オリエンテーションの実施

結果
・どの数値もとても高い。
・児童・保護者については、どれも９割近い達成率である。
・教職員は８割を超えるものが多くある。「安全に気を付けて元気に生活します」が低い。

考察
【進んで気持ちの良い挨拶をします】
児童の「いつもできた」「ときどきできた」を合わせた割合は９０％以上の達成である。その中で、いつもできた児童は５０％程度である。今後は、ときどきできた児童がいつもできるようになる手立てを考えたい。挨拶カードについては、一定の効果はあるが、継続的に行うには工夫が必要である。また、地域での挨拶もできていると感じている保護者が多い。しかし一部、挨拶をしないと記述した保護者もいた。学校での取り組みが地域にも広がっていったらいい。

【目標に向かって粘り強く取り組みます】
児童の「いつもできた」「ときどきできた」を合わせた割合は９０％以上の達成である。その中で、いつもできた児童の割合は２０～６０％程度で、学年により開きがある。
今後は、日々の授業の充実が不可欠である。個別最適な学びと協働的な学びを往還する学習過程の計画実践や自己調整の機会の設定を通して、目標に向かって粘り強く取り組むことができる児童も育てていきたい。そのために学年として具体的に何ができるか考えていきたい。

【思いやりの心を持って行動します】
児童の「いつもできた」「ときどきできた」を合わせた割合は９０％以上の達成である。その中で、いつもできた児童の割合は２０～７０％程度で、学年により開きがある。
今後は、学校全体としてＳＳＴは継続していきながら、学級・学年・委員会等で「思いやりの心」を育成していくために何ができるかそれぞれに考えていきたい。

【安全に気を付けて元気に生活します】
児童の「いつもできた」「ときどきできた」を合わせた割合は９０％以上の達成である。その中で、いつもできた児童の割合は７０％以上ある。しかし、安全に気を付けて元気に生活しますについては、児童・保護者と教職員の捉え方に大きな開きがある。年度当初の生活オリエンテーションの取り組みは大変良いものであると思う。今後は、教職員間でルールや決まりの共有と確認をしていきたい。

２学期に向けて
①全校で挨拶カードを継続的に取り組むための工夫（生徒指導・いじめ対策委員会で検討）
②授業の充実について（夏季研修の教育課程編成＆学年研修で検討）
③思いやりの心を育成するための手立て（夏季研修の教育課程編成＆学年研修で検討）
④ルールや決まりの共有・確認（生徒指導・いじめ対策委員会で検討）

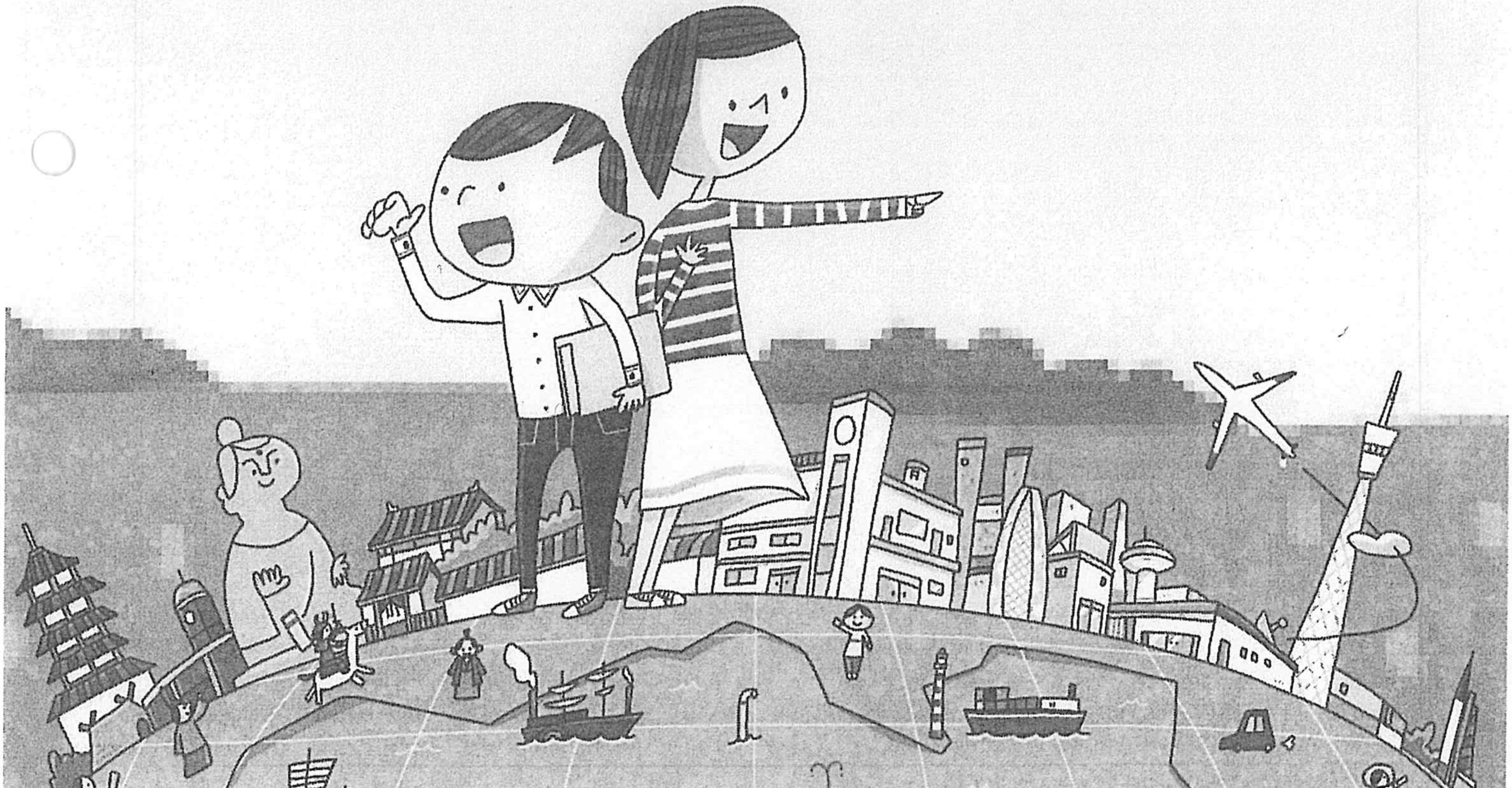
竜の子宣言

★進んで気持ちの良い挨拶をします

★目標に向かって粘り強く取り組みます

★思いやりの心を持って行動します

★安全に気を付けて元気に生活します



メ　モ

令和７年度　第１回　竜禅寺小学校運営協議会　会議録（要点記録）

１　開催日時　令和７年４月２５日（金）　１３時１５分から１４時４５分まで
２　開催場所　竜禅寺小学校　会議室
３　出席委員　新井 和美、加藤 京子、高須 道男、
　　　　　　　柳川 春彦、鈴木 宏幸、青島 早苗
４　欠席委員　寺田 成一、松本 直己、北井 実香、中村 哲也
５　学　　校　谷野 幸代（校長）、平本 智之（教頭）、近藤 仁志（教務主任）、
　　　　　　　中村 朝実（CSディレクター）
６　傍 聴 者　なし
７　会議録作成者　中村 朝実（CSディレクター）
８　会長の選出及び副会長の指名
新井委員から、高須委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。副会長については、高須会長から柳川委員を指名する旨の報告があった。
９　議長の選出
議長の選出について、高須会長から青島委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
１０　協議事項
（１）学校運営の基本方針、児童に育てたい力について
（２）夢育やらまいか事業ＣＳ加算分に対する意見書について
（３）竜禅寺小学校いじめ防止基本方針について
１１　会議記録
司会より委員総数１０名のうち６名の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。
（１）学校運営の基本方針、児童に育てたい力について
学校運営の基本方針や児童に育てたい力の重点について、谷野校長から説明があり、委員から以下の意見が出された。
・包摂性とは何か？（鈴木委員）
→誰一人取り残されないで包んでいくイメージ。（谷野校長）
・体育や運動がトーンダウンしている。どうやって運動に興味を示すか。陸上や水泳などの競う部分がなくなった。健康のための運動も含めて、どうか。（新井委員）
→竜禅寺と言えば健康教育。以前はおはようマラソンもあった。何ができるか考えていきたい。（谷野校長）
・「なわとび」はどうか。なわとびなら校内でできて、体幹を鍛えられる。学年問わず、継続もしやすい。サッカー少年団だとリフティングカードをやっている。自分で目標を作ってどう進めていくか、得意な子が引っ張ったりしてなわとびは基礎になる。（高須委員）
協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（２）夢育やらまいか事業ＣＳ加算分に対する意見書について
夢育やらまいか事業の学校運営協議会設置校加算分に対する意見書について、平本教頭から説明があり、全員異議なくこれを承認した。

（３）竜禅寺小学校いじめ防止基本方針について
『竜禅寺小学校いじめ防止基本方針』について平本教頭より説明があり、以下の質疑応答があった。
・いじめの事実を言いにくい児童へはどう対応しているか。（鈴木委員）
→学期に１度は、いじめアンケートを実施している。何かあれば担任が聞き取りを行う。（教頭）
・ネットトラブルの事案について詳しく教えて欲しい。（鈴木委員）
→ラインでのトラブルがあった。グループラインでの暴言や写真のやりとりがあった。保護者に伝え、対応した。（教務）
・昔にはなかったトラブルが多い。（高須委員）
・中１でも入学して１週間で、ラインのトラブルがあった。クラスのラインのグループもあり、ゲームなどその他のグループもある。親が子供のラインをどこまで把握できるか、難しい。（青島委員）
・昔は高校入学時から携帯電話を持たせていた。（加藤委員）
・携帯電話を持たせると位置情報で親が把握できるのはよい。（高須委員）
・小学校高学年の児童や保護者にネットへのトラブルの未然防止などについて紹介してくれる機会があるとありがたい。（青島委員）
・親に対しても伝えていかないといけない。（高須委員）
・歩きスマホやながらスマホなどでの事故もある。こういうことについても伝えていかないといけない。（新井委員）
・高学年だと写真を加工したり、動画を作ったりしている。（青島委員）
・モラルの問題である。学校でやったからといって０にはならないけれど、やることが大切である。（高須委員）
・将来の夢については、昔は「サッカー選手」「野球選手」だったけれど、今は「ユーチューバ―」や「プログラマー」などもある。（新井委員）
・情報機器で、意見の言い合いをしないことを親御さんから言ってもらえたらいい。（鈴木委員）
・会話の中の「バカ」と文字にしたときの「バカ」では意味合いが違ってくる。（高須委員）
・親が管理するしかない。親がいかに子供に関心を持つかが大切。（加藤委員）
・普段おとなしい子でも、ネット上では過激に言えてしまう。（青島委員）
・メールやラインはあくまで連絡手段。新卒の従業員にまず教えるのは挨拶それから電話対応を教えている。コミュニケーション能力が低下している。子供も大人も！そのために、まず会うことが大切である。（新井委員）
・今の６年生は入学時にコロナ休校でスタートしたので心配したが、６年生

は、コミュニケーションは取れていると思う。（高須委員）
・いじめアンケートの項目にネットトラブルについても入れてもよいと思う。（高須委員）
・あだなは今はだめな時代になってしまった。（新井委員）
・学校運営協議会としてできることはないか。学校運営協議会として、ネット利用について数値化してさくら連絡網で発信していくことも１つの方法かもしれない。（高須委員）

その他
・地域の「こども１１０番の家」の掲示が古くなっている。（柳川委員）
・新１年生が知らないので「こども１１０番の家」を学校で周知できたらいい。（柳川委員）

連絡・報告事項
・学校運営協議会の年間計画について
・年間教育活動計画について

次回の学校運営協議会は令和７年７月２５日（金）午後１時３０分から会議室にて開催する旨の報告があった。